

装飾分野での顔縁・面類などを主体に、  
又応接セットの肘・脚部分など商品価値と  
生産性を伴った試作過程から実用化を計っ  
ている。又冷凍車の断熱材として使用され  
その効果をあげている。

### 3・2 ポリエステル樹脂

仏壇（宮殿・蒔絵部門）・土産品の一部  
にポリエステル成型品が多く利用され、そ

の普及効果をあげている。

### 3・3 FRP

本県もヨット・ボート・小型漁船等が、  
このFRPに変わって来つ、ある「古い木船  
の船底部分や補修部分にもコーティングされ  
ている。又冷凍製菓のコンテナ等には応用  
されて、輸送費の軽減とその安全に役立っ  
ている。

## 蒔絵技法の改善研究

### （その1 調査と基本投法の実施）

#### 1. 目 的

県下での仏壇製造は、七業種の分業形態に  
よってそれぞれ生産の向上をめざしている。  
そのなかで蒔絵加工の手描き工程による加飾  
法は均一化と量産化がおくれて、業界発展の  
きまたげにもなっているので、これの加工改  
善の段階として、本年度は先進地の状況調査  
と基本技法（スクリーンによる蒔絵技法への  
応用）の実施を進めて、伝統的技法を活かし  
ながら量産化を計るものである。

#### 2. 概 要

- 2・1 スクリーン用資機材の準備
- 2・2 〃 の種類と枠張法
- 2・3 感光製版法の検討
  - 2・3・1 直接法
  - 2・3・2 間接法
  - 2・3・3 直接・間接法による操作法の実  
施

#### 3. 成 果

本年度は特に基本技法での操作実施を行い

その一般手法を修得した。すでに他分野への  
利用化も計り目下その実際化を検討している  
所である。

蒔絵技法への応用で、その経過から二・三  
の改善を試みるべく、漆と合成漆の混相剤と  
して下記のように次年度への実施計画を行っ  
た。

スクリーン製版技術の高度利用

- 〃 用漆の調整と他材料の検討
- 〃 プロセスによる蒔絵技法への応  
用化